

令和3年度事業報告

1 廃棄物処理事業

エコパークいづもざきの令和3年度の営業状況は、処理量 60,800 トン、料金収入 1,340,000 千円を見込んだところ、決算は、処理量で 20,011 トン増(32.9%増) の 80,811 トン、料金収入で 869,323 千円増(64.9%増)の 2,209,323 千円となった。

計画を上回った要因としては、第3期処分場供用開始に際して策定した長期経営計画に対し、解体残さなどの解体系廃棄物を中心に搬入量が上回ったことによる。

また、県が、次期処分場建設の候補地を上越市柿崎区に絞り込んだことを受け、その整備・運営を担う立場から、現地における業務拠点開設の準備を行った。

(1) エコパークいづもざきの営業状況

ア 事業概要

- ① 処理量 80,811 t (341 t/日、7.5 t/台)
- ② 料金収入 2,209,323 千円 (27,339 円/t、203,963 円/台)
- ③ 搬入車両数 10,832 台 (46 台/日)
- ④ 年間搬入受入日数 237 日
- ⑤ 施設視察者 45 団体 延べ 282 人 (前年比 134.3%)
(県外: 4 団体 延べ 4 人、県内: 41 団体 延べ 278 人)

⑥ 令和3年度の主な廃棄物の種類

単位：t、%、千円、%

種類	処理量	構成比	処理料金	構成比
解体残さ	33,275	41.2	913,282	41.3
石膏ボード	12,275	15.2	344,502	15.6
廃プラスチック	8,008	9.9	250,295	11.3
有機・無機・上水道汚泥等	7,585	9.4	162,215	7.3
シュレッダーダスト	3,574	4.4	123,624	5.6
鉱さい	2,956	3.7	58,397	2.6
燃え殻	2,821	3.5	71,127	3.2
非飛散性アスベスト	2,578	3.2	111,668	5.1
金属くず、ガラス、陶磁器くず	1,888	2.3	38,093	1.7
下水道汚泥・し尿汚泥	303	0.4	9,658	0.4
粗大不燃ゴミ処理残さ	44	0.1	1,526	0.1
その他	5,504	6.8	124,936	5.7
合計	80,811	100.0	2,209,323	100.0

⑦ 令和2年度の主な廃棄物の種類

単位：t、%、千円、%

種類	処理量	構成比	処理料金	構成比
解体残さ	37,519	46.4	837,623	37.9
石膏ボード	12,370	15.3	322,148	14.6
廃プラスチック	8,988	11.1	222,364	10.1
有機・無機・上水道汚泥等	7,445	9.2	144,866	6.6
鉱さい	3,565	4.4	64,251	2.9
燃え殻	2,387	3.0	55,644	2.5
非飛散性アスベスト	2,017	2.5	86,560	3.9
シュレッダーダスト	1,812	2.2	58,662	2.7
金属くず、ガラス、陶磁器くず	1,630	2.0	30,049	1.4
下水道汚泥・し尿汚泥	335	0.4	10,698	0.5
粗大不燃ゴミ処理残さ	53	0.1	1,836	0.1
その他	5,342	6.6	116,300	5.3
合計	83,463	103.3	1,951,001	88.3

⑧ 操業開始（平成11年度）から令和3年度までの主な廃棄物の種類

単位：t、%、千円、%

種類	処理量	構成比	処理料金	構成比
解体残さ	382,018	19.7	8,191,466	19.1
燃え殻、ばいじん、焼却残さ	253,888	13.1	5,723,626	13.3
石膏ボード	249,840	12.9	5,914,709	13.8
有機・無機・上水道汚泥等	248,318	12.8	4,869,429	11.3
廃プラスチック	148,905	7.7	2,886,547	6.7
シュレッダーダスト	100,032	5.2	2,816,233	6.6
鉱さい	96,341	5.0	1,245,001	2.9
下水道汚泥・し尿汚泥	93,484	4.8	1,721,192	4.0
金属くず、ガラス、陶磁器くず	86,553	4.5	1,305,309	3.0
粗大不燃ゴミ処理残さ	75,378	3.9	2,470,700	5.8
非飛散性アスベスト	34,243	1.8	1,457,450	3.4
その他	166,035	8.6	4,366,526	10.2
合計	1,935,035	100.0	42,968,188	100.0

イ 年度別営業状況等

①年度別計画処理量と処理実績

単位：t、%

年度	計画処理量（a）	処理実績（b）	(b) / (a)
令和3	60,800	80,811	132.9
令和2	60,800	83,463	137.3
操業開始からの累計	1,712,056	1,935,035	113.0

注：災害廃棄物、汚染土壌を含む

②年度別計画収入額と収入実績

単位：千円、%

年度	計画収入額（a）	収入額実績（b）	(b) / (a)
令和3	1,340,000	2,209,323	164.9
令和2	1,340,000	1,951,001	145.6
操業開始からの累計	39,111,924	42,968,188	109.9

注：災害廃棄物、汚染土壌を含む

（参考）年度末残容量の推移

(m³)

	処分場処理能力	残容量
平成11年度末	1,484,000	1,407,536
平成12年度末	〃	1,289,660
平成13年度末	〃	1,135,558
平成14年度末	〃	1,050,642
平成15年度末	〃	943,756
平成16年度末	〃	846,730
平成17年度末	〃	754,535
平成18年度末	〃	662,291
平成19年度末	〃	568,077
平成20年度末	〃	512,290
平成21年度末	〃	462,870
平成22年度末	〃	400,559
平成23年度末	〃	305,515
平成24年度末	〃	250,208
平成25年度末	〃	186,950
平成26年度末	〃	125,719
平成27年度末	1,605,800	166,000
平成28年度末	〃	112,609
平成29年度末	〃	68,027
平成30年度末	2,543,200	908,999
令和元年度末	〃	786,209
令和2年度末	〃	678,530
令和3年度末	〃	586,877

注：残容量には覆土・押さえ盛土分を含む。

注：平成27年度末は第2期処分場積増後(+121,800m³)の容量。

注：平成30年度末は第3期処分場増設後(+937,400m³)の容量。

ウ 主な経営努力事項

処理量が計画を上回って推移しており、今ままのスピードで埋立が続くと埋立完了時期がかなり早まりそうな懸念が出てきたことに対し、搬入量を抑制の方向に適正化させるため、以下の方策を検討・実施した。

○ 割引制度の見直し

平成 20 年頃の不況の際の利用促進と利用者負担軽減を目的に導入した割引制度が昨今の情勢に合わなくなっていることから、見直しを行った。(令和 3 年 6 月から割引率を縮小し、令和 4 年 6 月からは割引を休止)

○ 更なる搬入抑制策の検討

割引率の見直し後においても処理量が減少していないことから、処理量全体の 5 割以上を占める解体系廃棄物などの更なる搬入抑制のあり方を検討するため、取引先事業者等からの情報収集や意見交換を行った。

(2) 上越市柿崎区における業務拠点の開設準備

上越市柿崎区総合事務所建物内の一室を使用し、業務拠点を開設。

令和 4 年 4 月 1 日の業務開始に向け、県及び上越市の協力のもと、執務環境整備のための工事や什器備品類等の初度調達を行った。

(3) 上越地区住民の理解促進

県が上越地区候補地住民等を対象に実施したエコパークいづもざき見学会において、施設の現状、安全対策等について説明を行い、施設に対する理解の促進を図った。

見学会開催回数 5 回

2 環境保全啓発事業

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく新潟県地球温暖化防止活動推進センターの事業及びリサイクル推進事業の他、事業団の環境保全普及啓発事業について、研修会のオンライン化を促進するなど新型コロナウィルス感染症対策に十分配慮しながら行った。

① 地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省補助事業）

市町村等と共同で地球温暖化防止の普及啓発を行うとともに、国民運動「COOL CHOICE」の普及等を行った。

② 地球温暖化防止活動推進員等活動支援事業（県委託事業）

地球温暖化防止活動推進員に対し研修会を開催するとともに、地域の環境講座への派遣等を行った。

③ 「リサイクルアドバイザー」設置業務（県委託事業）

産業廃棄物のリサイクルに係るアドバイス業務を実施するとともに、優れた3Rの取組などの情報収集や発信を行った。

④ 環境保全普及啓発事業（事業団事業）

環境イベントへの参加、環境保全に関する地域活動の支援、環境学習の取組の推進等を行った。